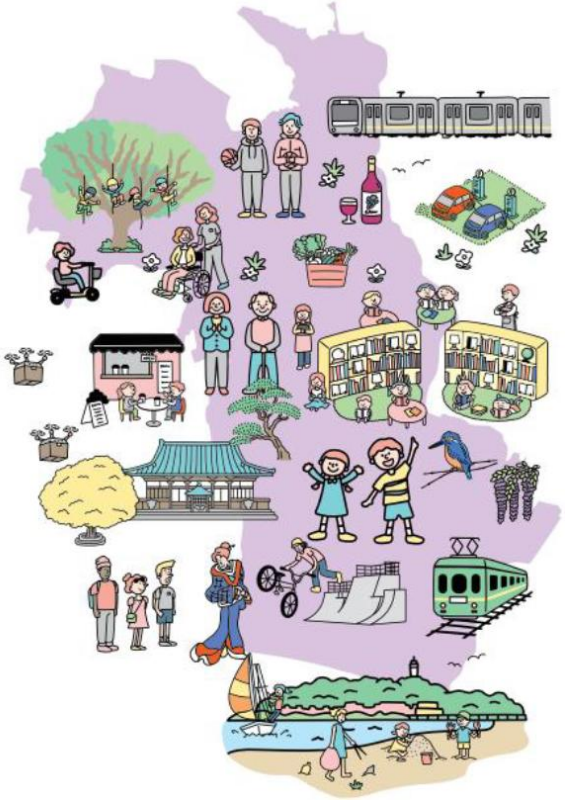
Fujisawa City
藤沢市

藤沢市市政運営の総合指針２０２８

令和７年度重点施策の評価



総合指針２０２８ 重点施策の評価

総合指針２０２８の重点施策の評価は指標を設定し、市民満足度をはじめとする「市民意識調査」により行っています。また、重点施策の実現に向けた重点事業の評価は、事務事業評価を活用し、成果の検証等を行っています。

総合指針２０２８の１年目である令和７年度の重点施策の評価について、市民意識調査による市民実感度と事務事業評価を活用した事業達成度の2軸として表し、定量的な効果の見える化を図ります。

© 2026 Fujisawa City

総合指針２０２８ 重点施策の評価の定義

事業達成度とは

総合指針２０２８の令和７年度KPIに対する達成状況を%で表したもの

（上限100%）

※数値目標を置けない事業は実施状況を0/50/100で評価

詳細は令和７年度総合指針重点事業KPI達成状況一覧を参照

市民実感度とは

令和７年度市民意識調査の区分ごとの実現度

（上限100%）

詳細は市民生活に関する意識調査のHPを参照
https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/shise/kocho/26ishiki-tyousa.html

© 2026 Fujisawa City

めざす都市像

郷土愛あふれる藤沢
～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

事業はおおむね計画どおり進んでおり、居心地のよさや愛着を感じる市民は８割

92.4%

事業達成度
89事業中62事業が目標を達成

81.4%

市民実感度
関連する2設問の実現度の平均

市民の実感（実現度）

誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること	80.1%
子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること	82.7%

事業達成度：令和7年度KPIに対する達成率（上限100%）の平均。数値目標を置けない事業は実施状況で評価。
市民実感度：令和7年度市民意識調査で「よくできている」「だいたいできている」の割合（「わからない」等を除く）。設問名は要約。

© 2026 Fujisawa City

３つのまちづくりコンセプト

藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち（サステナブル藤沢）

事業はおおむね計画どおり進んでいる。**市民の実感も８割を超える**

93.3%	事業達成度	80.2%	市民実感度 将来にわたって住み続けたいと思えるまち

共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）

事業はおおむね計画どおり進む。**過去と比較すると横ばい傾向**

92.7%	事業達成度	70.3%	市民実感度 人権が守られ、多様性を認め合う、支え合いのまち

最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち（スマート藤沢）

事業はおおむね計画どおり進んでおり、**市民の実感度は過去と比較すると上がってきている**

93.0%	事業達成度	38.5%	市民実感度 デジタル・最先端テクノロジーが活用されたまち

© 2026 Fujisawa City

まちづくりテーマ 1

安全で安心なまちをつくる

事業達成度は9割、消防・救急活動への実感は高いものの災害への備えの実感が5割にとどまる

91.9% **事業達成度**
12事業中7事業が目標を達成

63.8% **市民実感度**
関連する3設問の実現度の平均

重点施策	事業達成度と主な取組	市民の実感（実現度）
重点施策1 **災害対策の推進と消防・救急体制の充実**	**89.1%** 目標達成 5/9 • 個別避難計画作成 • 危険ブロック塀対策 • 土砂災害警戒区域内等の緑地対策 • 一色川改修 • 小糸川護岸改修 • 消防出張所本町出張所改築 • 下水道施設地震対策　など	災害への備え **50.7%** 消防・救急活動の充実 **78.5%**
重点施策2 **防犯・交通安全対策の充実**	**96.7%** 目標達成 2/3 • 迷惑電話防止機能付電話機購入支援 • 街頭防犯カメラ設置推進 • 自転車通行空間の整備	犯罪のない安全なまち **62.1%**

事業達成度：令和7年度KPIに対する達成率（上限100%）の平均。数値目標を置けない事業は実施状況で評価。
市民実感度：令和7年度市民意識調査で「よくできている」「だいたいできている」の割合（「わからない」等を除く）。設問名は要約。

© 2026 Fujisawa City

まちづくりテーマ 2

誰もが、豊かに生活し、支えあう社会をつくる

事業はおおむね計画どおり進んでいる。地域活動の実感は4〜5割にとどまる

94.7% 事業達成度
27事業中19事業が目標を達成

53.5% 市民実感度
関連する7設問の実現度の平均

重点施策	事業達成度と主な取組	市民の実感（実現度）	
重点施策1 地域共生社会の実現に向けた取組の推進	98.4% 目標達成 7/8 • 介護人材の育成、相談体制の充実 など	福祉・自分らしい暮らし	55.7%
重点施策2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	90.3% 目標達成 1/4 • 介護予防の自主活動の支援 • がん検診の実施　など	検診の受けやすさ 受動喫煙のないまち 健康づくりの環境	76.4% 59.2% 52.2%
重点施策3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	92.7% 目標達成 11/15 • 13地区のまちづくり事業 • チームFUJISAWA2020の推進 など	地域の支え合い・交流 市民参加の地域づくり ボランティア活動	50.1% 41.2% 39.6%

事業達成度：令和7年度KPIに対する達成率（上限100%）の平均。数値目標を置けない事業は実施状況で評価。
市民実感度：令和7年度市民意識調査で「よくできている」「だいたいできている」の割合（「わからない」等を除く）。設問名は要約。

© 2026 Fujisawa City

まちづくりテーマ ３

笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

待機児童対策が事業達成に満たなかった。子どもたちが自分らしく生活している実感は6割あるが、教育環境や居場所の充実実感は5割

89.5% **事業達成度**
20事業中17事業が目標を達成

55.1% **市民実感度**
関連する5設問の実現度の平均

重点施策	事業達成度と主な取組	市民の実感（実現度）	
重点施策1 すべての子どもの学びを支える学校づくり	**100.0%** 目標達成 4/4 • 特別支援学校の設置 • 中学校給食センター整備　など	教育環境の整備	46.9%
重点施策2 子どもが健やかに成長できる切れ目のない支援の充実	**100.0%** 目標達成 5/5 • 妊産婦健康診査、産後ケア事業の充実　など	妊娠・出産・子育てに関するサポートの充実	54.0%
重点施策3 子どもが幸せに育つ生活・幼児教育環境の充実	**71.4%** 目標達成 4/7 • 病児保育環境、医療的ケアの提供 • 保育士確保　など		
重点施策4 子ども・若者と対話しながら取り組む施策の推進	**100.0%** 目標達成 4/4 • 少年の森整備 • 放課後児童クラブ整備　など	子ども・若者が住んでいる地域に誇りをもち生活 子ども・若者が自分らしくいきいきと生活 居場所の充実	61.9% 62.9% 49.8%

事業達成度：令和7年度KPIに対する達成率（上限100%）の平均。数値目標を置けない事業は実施状況で評価。
市民実感度：令和7年度市民意識調査で「よくできている」「だいたいできている」の割合（「わからない」等を除く）。設問名は要約。

© 2026 Fujisawa City

まちづくりテーマ 4

都市の機能と活力を高める

都市基盤整備の進捗がやや目標に達しなかった。交通利便性、観光の活力は実感高め。働く場の充実への実感は4割にとどまる

89.1% 事業達成度
19事業中11事業が目標を達成

51.0% 市民実感度
関連する7設問の実現度の平均

重点施策	事業達成度と主な取組	市民の実感（実現度）
重点施策1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	81.0% 目標達成 4/6 • 藤沢652号線など道路の新設改良 • 健康と文化の森整備 • 村岡地区都市拠点整備　など	公共施設を次世代に良い状態で引き継げている 45.5%
重点施策2 住環境と交通環境の向上	95.8% 目標達成 1/3 • モビリティ・ハブ事業 • 空き家の対策　など	交通の利便性 63.6%
重点施策3 地域経済循環を高める経済対策の推進	90.5% 目標達成 6/10 • 企業立地促進助成 • ビニールハウス張替補助 • 商店街の街灯、防犯カメラ修繕 • 就労支援セミナー実施 • 観光PRの実施　など	観光の活力 69.5% 工業の活気 39.5% 商業の活気 54.0% 農水産業の活気 46.1% 働く場や機会の充実 39.1%

事業達成度：令和7年度KPIに対する達成率（上限100%）の平均。数値目標を置けない事業は実施状況で評価。
市民実感度：令和7年度市民意識調査で「よくできている」「だいたいできている」の割合（「わからない」等を除く）。設問名は要約。

© 2026 Fujisawa City

まちづくりテーマ ５

未来を見据えてみんなで進める

事業は計画どおり進んでいる。環境に配慮した<u>ごみ処理の実感は高め</u>。自然エネルギーの有効活用は<u>実感低くわからないの声が多い</u>

98.0% 事業達成度
11事業中8事業が目標を達成

51.9% 市民実感度
関連する5設問の実現度の平均

重点施策	事業達成度と主な取組	市民の実感（実現度）
重点施策1 **豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進**	**96.8%** 目標達成 2/4 • 再生可能エネルギー導入 • 戸別収集の試行 • プラ容器包装資源化　など	自然エネルギーの有効活用 **17.3%** 環境に配慮したごみ処理 **77.7%**
重点施策2 **デジタル市役所・スマートシティの推進**	**100.0%** 目標達成 2/2 • デジタル市役所サービス（ふじまど）の推進 • ロボテラスの普及啓発　など	行政手続きの利便性 **61.9%**
重点施策3 **次世代につなげる生涯学習施策の推進**	**98.7%** 目標達成 4/5 • 生活・文化拠点再整備 • 旧桔梗屋の保全活用 • スポーツ事業の実施　など	スポーツ活動の充実 **49.8%** 市内の文化的な魅力 **52.6%**

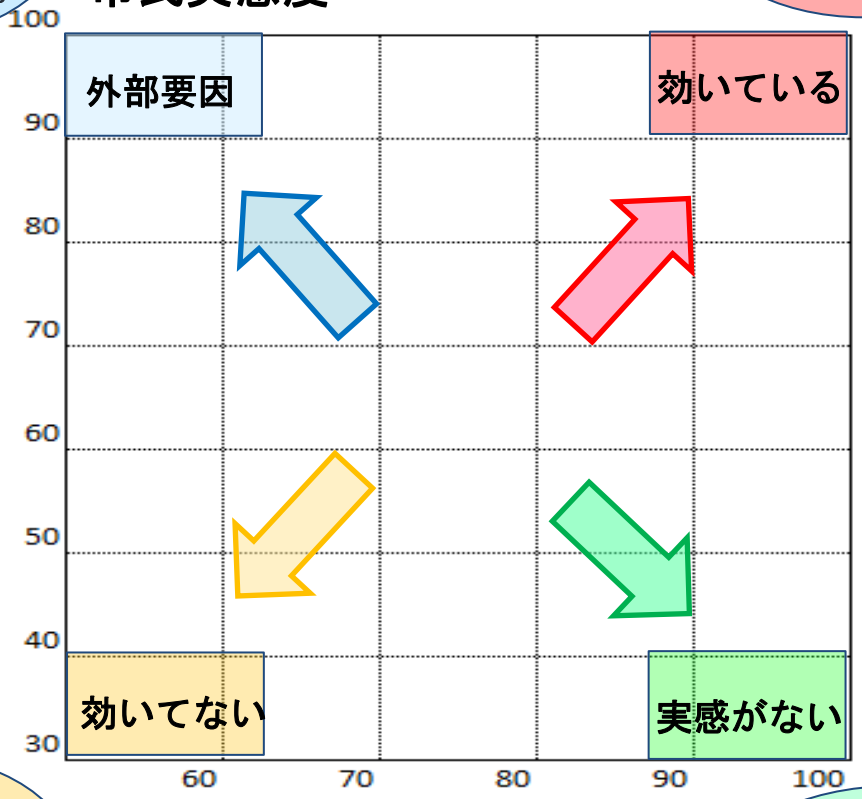
事業達成度：令和7年度KPIに対する達成率（上限100%）の平均。数値目標を置けない事業は実施状況で評価。
市民実感度：令和7年度市民意識調査で「よくできている」「だいたいできている」の割合（「わからない」等を除く）。設問名は要約。

© 2026 Fujisawa City

ダッシュボードについて

実感は高いものの、やると決めたことが進んでいない状態です。

やったことが市民に届いている状態です。



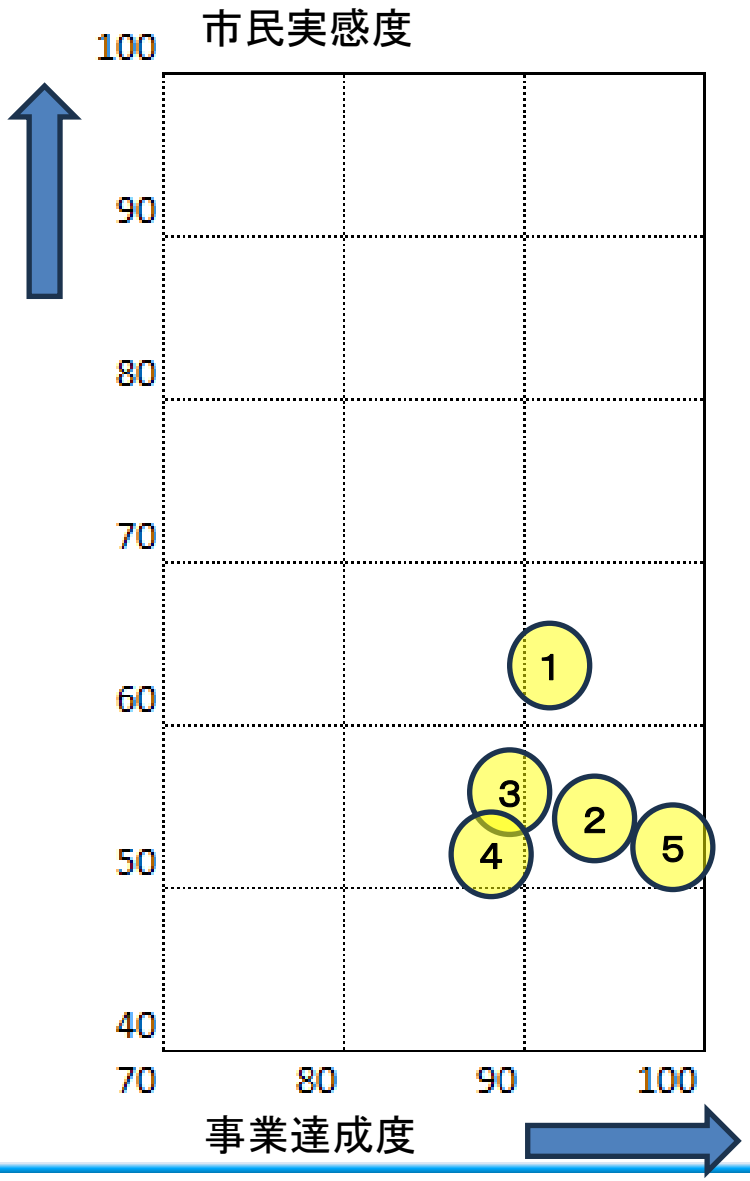
目標や事業、市民ニーズを見直す必要が高い状態です。

やったことが市民に届いていない状態です。

ダッシュボードとは、複数のデータを視覚的にわかりやすく表示するツールで、ここでは「事業達成度×市民実感度」の２軸での現在値を示したものです。
令和７年度は総合指針２０２８の１年目のため、R7を基準点とし、R8以降は基準点からの動きで効果を確認し、事業達成度、市民実感度を上げることを目指します。

© 2026 Fujisawa City

まちづくりテーマの令和７年度ダッシュボード



５つのまちづくりテーマごとに事業達成度と市民実感度をダッシュボードに表すと左の表となります。
ここを基準点として、次年度以降の動きを確認します。

© 2026 Fujisawa City

令和７年度の総括評価

事業の進捗

５つのまちづくりテーマでの事業達成度は89%以上となり、重点事業89件のうち62件が年度目標を達成しました。
一方で、目標を大きく下回った事業もあり、次年度に向けて要因を確認するとともにKPIの立て方についても見直します。

市民実感度

めざす都市像の２項目はいずれも80%を超え、まち全体への評価は高い状態です。
一方、重点施策に関する27設問では17.3%～78.5%と差が大きく、「わからない」の割合が高い設問ほど実感度が低い傾向がみられました。特に子育て・教育関連の設問は「わからない」が25～37%と高く、当事者以外の市民が判断材料を持ちにくいことも影響していると考えられます。

達成度と実感度の差

事業達成度が高いにもかかわらず実感度が低い施策については（①施策の成果が市民に伝わっていない ②事業の方向性と市民ニーズにずれがある ③事業効果を上回る外部要因の影響がある ④事業の指標と調査設問が測っている範囲が異なる）などの要因が考えられます（例：再生可能エネルギー導入容量の達成率は82%である一方、「自然エネルギーが有効活用されている」と感じる市民は17.3%にとどまる）。

今後に向けて

令和７年度を基準年度とし、令和８年度以降は基準年度からの変化によって事業の効果を確認します。
達成度と実感度の差が大きい施策は所管課で要因を分析し、事業の改善や情報発信につなげていきます。

© 2026 Fujisawa City